

しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業採択事業

诵堂学校における)

今日、小・中学校の通常学級に在籍する発達障がいの児童 生徒に対する指導・支援のあり方が問われています。本研究会 では、これまで主に特別支援学校で取り組まれてきた多重感 覚環境の設定によるスヌーズレン教育を通常学校に適用して、 その有効性や可能性を追求しています。当日は、常葉大学の 教員の講演と学生によるスヌーズレン教育実践の中間報告の 他に、全国の通級指導教室や特別支援学校での実践事例と教 材の紹介もございます。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。



通級指導教室の暗い空間で蛍光教材を用いた授業

徐々に肢体不自由特別支援学校等に導入が始まり実践されています

開催日

2017年**11**月4日(土) 13:30~16:45 (受付12:50~)



静岡駅パルシェフ階第1・2会議室

12:50~13:30 受 付

13:30~13:40 開始、挨拶

13:40~14:10 基調講演…姉崎 弘 (常葉大学教育学部教授)

「通常学校の発達障がい児等へのスヌーズレンの授業の可能性について」

スヌーズレン教材の紹介・・・山根文夫(三笠産業株式会社専務取締役) 14:10~14:30

「わが国初のブラックルーム『きらめきの三笠館」の取組の紹介し

14:30~14:40 休 憩

14:40~15:20 実践報告①…東 法子(兵庫県赤穂市立塩屋小学校教諭・通級指導教室)

「小学校通級指導教室における発達障がい児等へのスヌーズレンの授業実践」

15:20~15:50 実践報告②…酒井そら(常葉大学教育学部4年)

「小学校の発達障がい児への取出しによるスヌーズレンの授業実践(中間報告)」

15:50~16:00 休 憩

16:00~16:30 実践報告③・・・藤澤 憲(和歌山県立和歌山さくら支援学校教諭)

「特別支援学校におけるスヌーズレンの授業と教材・教具の紹介」

16:30~16:45 全体質疑

16:45~ 挨拶、終了

申し込み方法 下記の参加申込書に必要事項を記入して、FAX か、メールによる送信をお願いします。

リラクゼーションの一手法として始められた活動です。スヌーズレンの語源は オランダ語の「クンクン匂いをかぐ」と「ウトウト居眠りをする」の合成語から 970年代にオランダの重度知的障がい者施設においてやすらぎの活動や スヌーズレンは2000年頃から 個人宅などでさまざまな障が

ル

ISNA日本スヌーズレン総合研究所 〒420-0911 静岡市葵区瀬名1-22-1 常葉大学教育学部 http://www.snoezelen-research.jp/

学術研究出版/ブックウェイ E-mail: info@bookway.jp FAX: 079-223-3523

・セラピーの方法として

【11月4日(土) 第1回スヌーズレン教育研究会参加申込書

勤務先	職名	
ご氏名	TEL	
E-mail アドレス	FAX	

※ご記入いただいた個人情報につきましては、主催者と協力会社の規定により次のとおり適切な安全管理措置を講じます。

1. 本研究会の実施に使用し、目的外には使用いたしません。 2. 協力会社より主催者以外の第三者への提供は行いません。 3. 主催者及び協力会社にて共同で利用いたします。

E-mail: info@bookway.jp FAX:079-223-3523(小野高速印刷株式会社 出版事業部)

ISNA 日本スヌーズレン総合研究所 所長 姉 崎 弘 (常葉大学教育学部教授) http://www.snoezelen-research.jp

第1回スヌーズレン教育研究会開催のご案内

中秋の候皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本研究所の研究活動並びに研修活動にご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、別紙のとおり、平成 29 年 11 月 4 日(土)に静岡駅のパルシェ 7 階の第 1・2 会議室を会場に、ISNA 日本スヌーズレン総合研究所主催による「第 1 回 スヌーズレン教育研究会」を開催する運びとなりましたので、ご案内を申し上げます。今回は「しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業」に採択されましたので、参加費は無料です。

本研究所は、2年前より教育・福祉・医療等の分野において、スヌーズレンの正しい理解啓発のための研究および研修活動に取り組んでまいりました。具体的には、年1回の機関誌「スヌーズレン教育・福祉研究」誌の発行、年3~4回のスヌーズレン研修(研究)会の開催、さらに日本特殊教育学会等でのスヌーズレンシンポジウムおよび研究発表を行ってきております。

わが国では、今日多くの特別支援学校でスヌーズレンの授業実践が行われており、年々 実践する学校が少しずつ増えてきております。また障がい者施設や病院の中でも多く実践 されてきております。

今日、小・中学校の通常学級に在籍する発達障がい等の児童生徒に対する指導・支援の あり方が問われています。多くの学校で、指導や支援の方法を模索しながら取り組んでい るのが現状です。

今回のスヌーズレン教育は、1970 年代にオランダの知的障がい者施設で始められたスヌーズレンの取組みを、学校教育に「スヌーズレン教育」として適用を図ったものです。主に視覚刺激や聴覚刺激等を用いた多重感覚環境を別室に設定して、対象児の興味のある活動を通して、リラクゼーションや教師との共感的触れ合いを重視して、対象児(一人又は複数)の心理的な安定を図り、教師や仲間との信頼関係を培うことで、対人関係の改善やコミュニケーションスキルの向上等を図り、生きる力を高める教育方法の一つです。

案内チラシにございますが、当日は、私の基調講演「通常学校の発達障がい児等へのス ヌーズレンの授業の可能性について」の他に、通級指導教室担当教員による実践報告、常 葉大学教育学部 4 年生による実践中間報告、さらに特別支援学校教員による実践報告と教 材・教具の紹介がございます。現場の先生方の日々の実践に役立つ内容になっております。 何かとご多用の時期とは存じますが、ぜひ職場の皆様に本研究会の開催についてご案内

何かとご多用の時期とは存じますが、ぜひ職場の皆様に本研究会の開催についてご案内下さいますよう、何卒ご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

皆様方のご参加を心よりお待ち申し上げております。